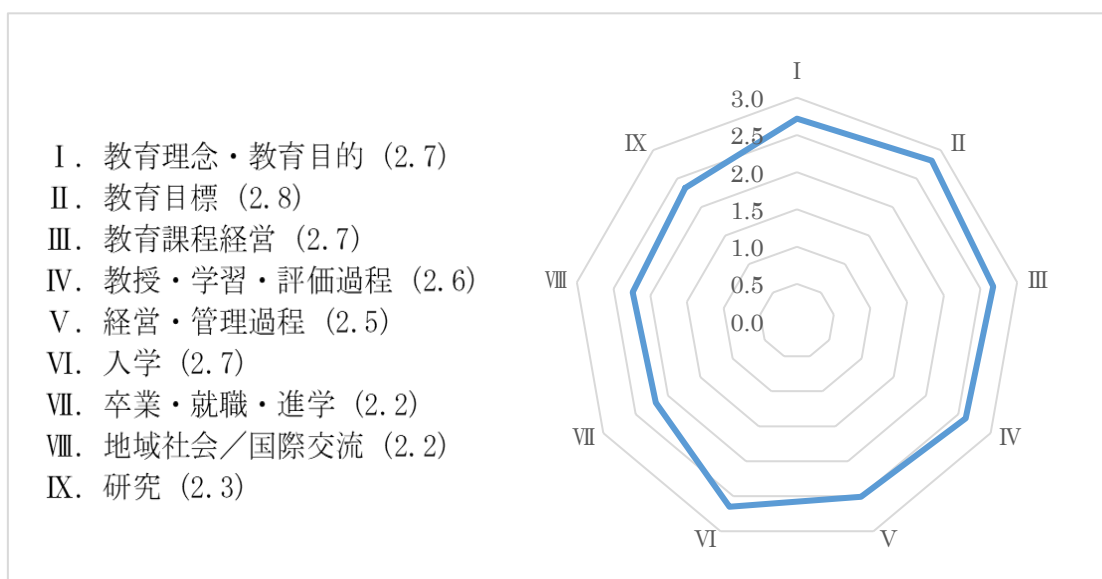


令和6年度 自己点検・自己評価集計結果



I 教育理念・教育目的 (2.7)

教育理念・教育目的、専門職についての考えかたを明示した学生便覧を教職員全員で見直を行っている。学生便覧を学生個々に配布し説明を行い、学習活動や教育活動の指針としている。

II 教育目標 (2.8)

教育目標は、教育理念・教育目的と一貫している。教育目標から分野・領域の目標、科目目標、単元目標、授業目標と一貫性がある教育を今後も意識し行っていく。

III 教育課程経営者 (2.7)

他の高等教育機関との単位互換体制を設けており、学生は実際に活用している。

実習前後には臨地実習施設と指導者会議を実施し、学生の支援体制を充実させている。実習後の会議では、学生の実習目標の達成度を評価し、その結果を実習施設に伝えた上で、意見交換をおこない、さらなる改善を図っている。

IV 教授・学習・評価過程 (2.6)

教員はそれぞれ、授業評価を通じて学生の意見を取り入れ、教授方法の工夫を重ねている。複数の教員が担当する演習では、月に1～2回実施する教務会議の中で、指導目的や方法を検討し、教員間の意識統一を図りながら学生への指導を行っている。また、教員全員が学生数名を受け持ち、国家試験対策をはじめとする学習支援に取り組んでいる。今後も、よりきめ細やかな支援が提供できるよう努めていく。

V 経営・管理過程 (2.5)

学習環境を整え、オンライン環境のほか、演習室・図書室・情報処理室などを利用できるようにしている。また、精神面のサポートとして、公認心理士の定期的なカウンセリングを実施し、学生支援を行っている。奨学金の紹介や学校併設の寮費や食費の減額などを通じて、生活支援も充実させている。

VI 入学 (2.7)

入学者選抜方法などは運営会議で決定している。社会人のための社会人入学試験枠を設けている。学校ホームページや SNS によるタイムリーな情報発信を行い、募集要項の作成や学校公開・学校訪問を通じて広報活動に努めている。

VII 卒業・就職・進学 (2.2)

卒業時点で、すべての学生が希望する就職先の内定を獲得し、全員が病院に就職した。

卒業後の活動状況については、半数以上の学生が実習先の病院に就職しておりその状況は把握できている。しかし、県外などに就職した学生の活動状況については、十分に把握できていない。

VIII 地域社会／国際交流 (2.2)

地域のボランティア活動やみかん収穫体験、食育推進事業参加をはじめ、デジタルデバイス対策として、役場と地元の高等専門学校と連携し、デジタル体験イベントに参加する等、地域の方との交流を積極的に行った。文化祭では、地域の人々のニーズを知る貴重な機会を得ることができた。国際交流の一環としてハワイ研修を取り入れているが、海外からの留学生の受け入れ等については、積極的に進められていない。今後も、地域に貢献できる学校として、何ができるのか考えていく。

IX 研究 (2.3)

教員全員が担当科目等に関する研修を受講し、自己研鑽に努めている。また、周防大島町病院事業局内に倫理委員会を設置し、研究体制を整えている。